



なっとくんの

# なるほどなっとくニュース

Community Museum「地域の宝・学校の宝」学校を中心とした地域の教育的環境の活用をめざして

※なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。



## もうりたかちか あぶがわ 毛利敬親と阿武川

1836年6月12日、阿武川がはんらんし、萩城下は「申歳の大水」と呼ばれる大水害に見舞われ、約200名もの人が亡くなりました。のちに長州藩13代藩主となった毛利敬親は、大水の中、船に乗って脱出し、命からがら避難しました。

はぎしつばきりぐち  
萩市椿霧口



毛利敬親 (1819~1871)



山口県立山口博物館

萩萩ウェルネスパークの近く(萩市椿霧口)にある「申歳の大水」の自然災害伝承碑に、当時の状況が詳しく紹介されています。



藩主敬親は、毎年のように起こる水害のもととなった阿武川の流れをおだやかにするため、身分を問わず意見を聞くように指示しました。その後、下級武士の案が採用され、洪水を減らすことに成功しました。



私(木戸孝允)ほか、若く有能な人材を活躍させて幕末の混乱をのりきり、明治維新の達成に力を尽くした敬親らしいエピソードだね。



木戸孝允(1833~1877)  
山口県立山口博物館



阿武川



しら  
調べてみよう



左の写真は、山口博物館にある毛利敬親書「格非心」です。敬親の政治への姿勢がわかる、とてもよい言葉です。どういう意味なのか、調べてみよう！